

2022年JAF地方ジムカーナ／ダートトライアル／サーキットトライアル選手権 クラス区分等について

2022年日本ジムカーナ／ダートトライアル選手権規定および2022年日本サーキットトライアル選手権規定に基づき、2022年JAF地方ジムカーナ／ダートトライアル／サーキットトライアル選手権クラス区分等について、以下のとおりお知らせします。

1 地方ジムカーナ選手権

1) 北海道ジムカーナ選手権：

【クラス区分】

参加車両	クラス	参加車両	
P、PN、AE 車両	PN-1	気筒容積を制限しない前輪駆動(FF)および後輪駆動(FR)の PN 車両およびP、AE 車両	※1
	PN-2	気筒容積および駆動方式を制限しない PN-1 以外の PN 車両およびP、AE 車両	※1
N、SA、SAX、B 車両	SH-1	2 輪駆動の N、SA、B、SAX 車両	※2
	SH-2	4 輪駆動の N、SA、B、SAX 車両	※2
SC 車両	SC	クラス区分なし	

※1 の記号のあるクラスは2014年日本ジムカーナ／ダートトライアル選手権統一規則第2章第2条2)を適用する。

※2 の記号のあるクラスの内、下記タイヤを含め通称Sタイヤを使用する場合は、本年のJAF国内競技車両規則第3編スピード車両規定第4章スピードN車両規定第8条または第5章スピードSA車両規定第8条に従うこと。

タイヤ製造者	ブランド名	タイヤ銘柄(通称Sタイヤ)
(株)ブリヂストン	POTENZA	520S ・540S ・55S ・11S
住友ゴム工業(株)	DIREZZA	93J ・98J ・01J ・02G ・03G
横浜ゴム(株)	ADVAN	021 ・032 ・038 ・039 ・048 ・050
TOYO TIRE(株)	PROXES	FM9R ・08R ・881 ・888
製造者問わず	海外タイヤ製造者製該当タイヤを含む(通称セミレーシングタイプタイヤ)等	

2) 東北ジムカーナ選手権：

【クラス区分】

クラス	参加車両	
SATW-2 クラス	UTQG の TREAD WEAR が 280 以上のタイヤを使用する 2 輪駆動の SA 車両	※1
SATW-4 クラス	UTQG の TREAD WEAR が 280 以上のタイヤを使用する 4 輪駆動の SA 車両	※1
PN1 クラス	気筒容積 1600cc 以下の 2 輪駆動 (FF・FR) の PN 車両	※2
PN2 クラス	気筒容積 1600cc を超える 2 輪駆動 (FF・FR) の PN 車両	※2
PN3 クラス	気筒容積 1600cc を超え 2000cc 以下の後輪駆動 (FR) の PN 車両で FIA/JAF 公認発効年または JAF 登録年が 2012 年 1 月 1 日以降の車両	※2
PN4 クラス	PN1・PN2・PN3 クラスに該当しない PN 車両	※2
SAC-2 クラス	排気量制限なしの 2 輪駆動の SA・SAX・SC 車両	※3
SAC-4 クラス	排気量制限なしの 4 輪駆動の SA・SAX・SC 車両	※3

※1 の記号のあるクラスは、以下のタイヤ規制を適用する。

UTQG の TREAD WEAR が 280 以上 (タイヤの刻印にて確認) のタイヤ。

※2 の記号のあるクラスは、2022 年全日本ジムカーナ/ダートトライアル選手権統一規則第 2 章第 2 条 2) を適用する。

※3 の記号のあるクラスに参加する SA・SAX 車両のタイヤサイズは競技会開催場所内に限り自由とし、当該年の JAF 国内競技車両規則第 3 編第 5 章スピード SA 車両規定第 8 条 8. 1. 1) ④～⑩を除き、当該条項の適用を免除する。ならびに、8. 2. 1) ①の適用を免除する。

また、同クラスに参加する SC 車両のタイヤは、公道走行の許されている一般市販タイヤとし、競技専用タイヤは使用しないこと。

3) 関東ジムカーナ選手権：

【クラス区分】

クラス	車両	気筒容積・駆動方式等	
JG1	SA/SAX/SC 車両	気筒容積区分無し of 4 輪駆動の SA・SAX・SC 車両	※1
JG2		気筒容積区分無し of 後輪駆動の SA・SAX 車両。2 輪駆動の SC 車両	※1
JG3	SA/SAX 車両	気筒容積 1 6 0 0 c c を超える前輪駆動の SA・SAX 車両	
JG4		気筒容積 1 6 0 0 c c 以下の前輪駆動の SA・SAX 車両	
JG5	PN 車両	JG6・JG7・JG8 に該当しない PN 車両	※2
JG6		気筒容積 1 6 0 0 c c を超え 2 0 0 0 c c 以下の 2 輪駆動 (FR) の PN 車両のうち、FIA/JAF 公認発効年または JAF 登録年が 2 0 1 2 年 1 月 1 日以降の車両	※2
JG7		気筒容積 1 6 0 0 c c を超える 2 輪駆動 (FF・FR) の PN 車両	※2
JG8		気筒容積 1 6 0 0 c c 以下の 2 輪駆動 (FF・FR) の PN 車両	※2
JG9	P/PN/AE 車両	オートマティック限定免許で運転できる 4 輪駆動の P/PN/AE 車両	※2
JG10		オートマティック限定免許で運転できる 2 輪駆動の P/PN/AE 車両	※2
JG11	D 車両	気筒容積・駆動区分制限無し (クラス区分無し) の D 車両	
JG12	PN 車両	気筒容積区分無し of 4 輪駆動の PN 車両	※3
JG13		2 0 0 0 c c を超える 2 輪駆動 (FF・FR) の PN 車両	※3
JG14		2 0 0 0 c c 以下の 2 輪駆動 (FF・FR) の PN 車両	※3

※1 の記号があるクラスは 2 0 2 2 年全日本ジムカーナ/ダートトライアル選手権統一規則 第 3 章第 1 7 条 1) (4) を適用する。

※2 の記号があるクラスは、以下のタイヤ規制を適用する。(参加者がカタログ等で証明すること。)

① 2 0 2 0 年 1 2 月 3 1 日以降で、1 銘柄で単一コンパウンドかつ国内販売が 3 0 サイズ以上のラインナップを有すること、または UTQG の TRED WEAR が 2 0 0 以上 (タイヤの刻印にて確認) のタイヤ。

② タイヤの溝深さはトレッドウエアインジケータ (スリップサイン) が出るまで維持されていること。

※3 の記号があるクラスは、UTQG の TRED WEAR が 2 8 0 以上 (タイヤの刻印にて確認) のタイヤのみ使用可。

4) 中部ジムカーナ選手権：

【クラス区分】

クラス	参加車両	
AT	オートマチック限定免許で運転できる P、PN、AE 車両	※2
RPN1	気筒容積 1600cc 以下の 2 輪駆動 (FF、FR) の PN 車両	※2
RPN2	気筒容積 1600cc を超える 2 輪駆動 (FF、FR) の PN 車両	※2
RPN3	クラス 1 およびクラス 2 に該当しない PN 車両	※2
PN1	気筒容積 1600cc 以下の 2 輪駆動 (FF、FR) の PN 車両	※1
PN2	気筒容積 1600cc を超える 2 輪駆動 (FF、FR) の PN 車両	※1
PN3	気筒容積 1600cc を超え 2000cc 以下の 2 輪駆動 (FR) の PN 車両の内、FIA/JAF 公認発効年または JAF 登録年が 2012 年 1 月 1 日以降の車両	※1
PN4	クラス 1、クラス 2 およびクラス 3 に該当しない PN 車両	※1
SA1	気筒容積 1600cc 以下の 2 輪駆動の SA/SAX 車両	
SA2	気筒容積 1600cc を超える前輪駆動の SA/SAX 車両	
SA3	気筒容積 1600cc を超える後輪駆動の SA/SAX 車両	※3
SA4	4 輪駆動の SA/SAX 車両	※3
SC	クラス区分なしの SC 車両	
D	クラス区分なしの D 車両	

※1 の記号のあるクラスは、当該年全日本ジムカーナ選手権統一規則第 2 章第 2 条 2) を適用する。(タイヤ規制)

※2 の記号のあるクラスは、下記タイヤの使用が認められない。

タイヤ製造者	ブランド名	使用が認められないタイヤ銘柄
住友ゴム工業(株)	DIREZZA	93J/98J/01J/02G/03G Z II ☆α/Z II ☆α02/β02/β03/β04/β10
(株)ブリヂストン	POTENZA	520S/540S/55S/11S/05D/06D/07D/11A 2.0 11A 3.0/11A 4.0/11A for GYMKHANA/12D
TOYO TIRE(株)	PROXES	FM9R/08R/881/888/888R/RR
横浜ゴム(株)	ADVAN	021/032/038/039/048/050/052/08B
Hankook Tire Co.,Ltd	Ventus	Z214/TD
Kumho Tire Co.,Ltd	Ecsta	V710/V70A
製造者問わず		競技用タイヤ・セミレーシングタイヤと判断されるタイヤ ※競技用タイヤ＝レース・ラリー・ダートトライアル・ジムカーナ用タイヤ 86/BRZ Race 指定タイヤを含む

※3 の記号のあるクラスに参加する SA・SAX 車両のタイヤサイズは競技会開催場所内に限り自由とし、当該年の JAF 国内競技車両規則第 3 編第 5 章スピード SA 車両規定第 8 条 8. 1. 1) ④～⑩を除き、当該条項の適用を免除する。ならびに、8. 2. 1) ①の適用を免除する。

※本規定に疑義が生じた場合、JMRC 中部ジムカーナ部会の決定を最終とする。

5) 近畿ジムカーナ選手権：

【クラス区分】

クラス	参加車両	
BR1 クラス	気筒容積1582cc以下のB車両	※1
BR2 クラス	前輪駆動のB車両	※1
BR3 クラス	後輪駆動のB車両	※1
BR4 クラス	4輪駆動のB車両	※1
2PD クラス	オートマチック限定免許で運転できるP・PN・AE車両	
PN1 クラス	気筒容積1600cc以下の2輪駆動 (FF・FR) のPN車両	
PN2 クラス	気筒容積1600ccを超える2輪駆動 (FF・FR) のPN車両	
PN3 クラス	気筒容積1600ccを超え2000cc以下の2輪駆動 (FR) のPN車両のうち、FIA/JAF公認発効年またはJAF登録年が2012年1月1日以降の車両	
PN4 クラス	PN1、PN2およびPN3クラスに該当しないPN車両	
L クラス	B・SAX・SC車両 (女性運転者に限る)	
SB1 クラス	気筒容積1582cc以下のB・SAX・SC車両	
SB2 クラス	気筒容積1600cc以下のB・SAX・SC車両および2輪駆動のN車両 (ただし、N車両は2023年までの暫定措置とする)	
SB3 クラス	2輪駆動のB・SAX・SC車両	
SB4 クラス	4輪駆動のB・SAX・SC車両	

- ・同一車両による重複参加 (ダブルエントリー) は2名まで認められる。
重複参加は同一クラスに限られるが、Lクラスはこの限りではない。
- ・使用可能タイヤは基本的に、当該年のJAF国内競技車両規則第3編スピード車両規定に記載の各車両規定に準ずる。
- ・P・PN・AE各車両については当該年の全日本ジムカーナ/ダートトライアル選手権統一規則 第2章 第2条2) を適用する。
- ・(※1) を記載しているBR1、BR2、BR3、BR4の各クラスは下記に記載するタイヤの使用を禁止する。

タイヤメーカー	ブランド	使用が禁止されるタイヤ
住友ゴム工業(株)	DIREZZA	DIREZZA に続き、2桁以上の数字と1つの記号(J、G、β、R)の組合せで製品名が構成されているタイヤ
(株)ブリヂストン	POTENZA	POTENZA RE-に続き、2桁の数字と1つの記号(S、D)の組合せで製品名が構成されているタイヤ
TOYO TIRE(株)	PROXES	製品名にR888を含むタイヤ
横浜ゴム(株)	ADVAN	A048/A050/A08B
上記以外のメーカー (海外含む)		ラリータイヤ、レース専用タイヤ、セミレーシング(通称S)タイヤ、縦溝のみのタイヤ、86/BRZレース等対応のカタログ上で1サイズのみタイヤは基本使用不可。 ただし、タイヤサイドに UTQG (TREAD WEAR) 200以上の数字の記載があり、競技当日の車検で確認出来れば使用可とする。 上記に当てはまらない新製品に関しては判断基準に従い猶予期間を待たずに使用を禁止する可能性がある。 ※補足: 海外メーカー含め新作タイヤは続々と出てきますので、全ての銘柄を記載できないので上記判断となります。

6) 中国ジムカーナ選手権：

【クラス区分】

クラス名称	クラス区分	タイヤ
T28 クラス	UTQG 表示のトレッドウェア 280以上のタイヤを装着した気筒容積区分なしのPN・AE・SA・B車両	
RC クラス	軽自動車のPN・AE・B車両および気筒容積1500cc以下の2輪駆動(F F)のPN車両	★
R2 クラス	気筒容積区分なしの2輪駆動のPN・AE・SA・SAX・B・SC車両	
R4 クラス	気筒容積区分なしの4輪駆動のPN・AE・SA・SAX・B・SC車両	
PN1 クラス	気筒容積1600cc以下の2輪駆動(F F・FR)のPN車両	☆
PN2+クラス	気筒容積1600ccを超える2輪駆動(F F・FR)のPN車両およびJAF登録年が2005年1月1日以降の気筒容積2000cc以下の後輪駆動(FR)のN車両	
S2 クラス	気筒容積1600cc以下のSA・SAX・B・SC車両および気筒容積1600ccを超える2駆動のSA・SAX・B・SC車両	
S4 クラス	気筒容積1600ccを超える4輪駆動のSA・SAX・B・SC車両およびPN1クラス・PN2+クラスに該当しないPN車両	

★の記号があるクラスが交換して使用できるタイヤはJMRC中国公式Webサイトで指定されているタイヤでなければならない。ただし、指定タイヤは年度途中でも部会を経て適時変更される。指定タイヤを使用せず出走の場合、各ヒートのタイムに5秒が加算される。

☆の記号があるクラスは当該年の全日本ジムカーナ/ダートトライアル選手権統一規則第2章第2条2)を適用する。

7) 四国ジムカーナ選手権：

【クラス区分】

クラス	参加車両	
NS	1	・ 2 輪駆動の N・SA・SAX・SC・AE 車両
	2	・ 4 輪駆動の N・SA・SAX・SC・AE 車両 ・ クラス区分無し D 車両
PN	・ 2 輪駆動の PN 車両	
R	1	・ 気筒容積 1 1 5 0 c c 以下の後輪駆動の B 車両 ・ 気筒容積 1 5 0 0 c c 以下の前輪駆動および 4 輪駆動の B 車両
	2	・ 気筒容積 1 5 0 0 c c を超える前輪駆動の B 車両
	3	・ 気筒容積 1 1 5 0 c c を超える後輪駆動の B 車両
	4	・ 気筒容積 1 5 0 0 c c を超える 4 輪駆動の B 車両および 4 輪駆動の PN 車両 (4 輪駆動の PN 車両は、JAF 登録年問わず改造範囲のみ適用。)

【各クラスのタイヤ制限】

※NS クラスについては、当該年の JAF 国内競技車両規則第 3 編スピード車両規定第 5 章スピード SA 車両規定を適用する。

※PN クラスについては、基本当該年の全日本ジムカーナ/ダートトライアル選手権統一規則第 2 章第 2 条 2) を適用する。

※R クラスについては、以下のタイヤ規制を適用する。

(1) 1・2・3 クラスは表 1・表 2 記載のタイヤを使用禁止とする。

(2) 4 クラスは、以下の通りとする。

・表 1 のタイヤを使用禁止とする。

・B 車両は表 2 のタイヤを使用することができる。ただし、その使用本数に係わらず当該ヒートの走行タイムに 2 秒を加算するものとする。

・PN 車両 (JG5 車両) は、表 2 のタイヤを使用することができる。タイム加算はしない。

(3) 新たに販売が開始、またはモデルチェンジされた表 1 中の※ 1、※ 2 に該当しないタイヤは、基本的に使用可能とする。その性能確認により、猶予期間なしに使用不可と判断する場合がある。

(4) 新たに使用不可と判断したタイヤは J M R C 四国にて適時発表・告知する。

表 1	住友ゴム工業(株)	DIREZZA	02G・03G・β03・β04・β05・94R
	(株)ブリヂストン	POTENZA	55S・11S・05D・06D・07D
	TOYO TIRE(株)	PROXES	881・888
	横浜ゴム(株)	ADVAN	048・050
	日本グッドイヤー(株)	EAGLE/RS-SPORT	V-SPEC・R2-SPEC・R3-SPEC・R4-SPEC
	Hankook	Ventus	Z214・TD
	Kumho	Ecsta	V710・V70A・V700
	NANKANG	Sport nex	AR-1・NS-2R
	※1 海外タイヤ製造者製を含む通称 S タイヤと判断される物、および縦溝のみのタイヤ。		
	※2 製造者問わず、セミレーシングタイヤと判断されるタイヤ、ラリー・ダートトライアル・ジムカーナ・レース専用タイヤ		

表 2	住友ゴム工業(株)	DIREZZA	β02・β10
	(株)ブリヂストン	POTENZA	12D
	横浜ゴム(株)	ADVAN	A08B

8) 九州ジムカーナ選手権：

【クラス区分】

PN クラス : PN クラスのタイヤは2022年全日本統一規則に準ずる。	
PN1	1600ccまでの2輪駆動のPN車両・AE車両・P車両
PN2	1600ccを超える2輪駆動のPN・AE車両・P車両

PNR クラス : PNR クラスのタイヤは下記の使用禁止タイヤ一覧表に従うこと。	
PNR1	1600ccまでの前輪駆動のPN車両・AE車両・P車両

SA クラス : SA クラスのタイヤサイズは保安基準適合範囲内とし、通称Sタイヤまで使用可。	
SA1	全ての2輪駆動のB車両・N車両・SA車両・SAX車両
SA2	全ての4輪駆動のB車両・N車両・SA車両・SAX車両

B クラス : B クラスのタイヤサイズは保安基準適合範囲内とする、ただし下記の使用禁止タイヤ一覧表に従うこと。	
B1	全ての軽4輪のB車両・SAX車両
B2	全ての2輪駆動のB車両・SAX車両

SC クラス : SC クラスのタイヤは2022年JAF国内競技車両規則第3編スピード車両規定第8章スピードSC車両規定に準ずる。	
SC1	2輪駆動のSC車両およびSAX車両
SC2	4輪駆動のSC車両およびSAX車両

<使用禁止タイヤ一覧表>

タイヤメーカー	銘柄
ブリヂストン	520S ・540S ・55S ・11S ・11A.2.0/4.0 ・05D ・06D ・07D ・12D ・12D-A
ダンロップ	93J ・98J ・01J ・02G ・03G ・Z2-β/α ・β-03 ・β-10 ・β-04
ヨコハマ	021 ・032 ・038 ・039 ・048 ・A050 ・A08B
トーヨー	FM9R ・08R ・881 ・888 ・R888 ・R888R
グッドイヤー	RSsport-86S ・R2 ・R3 ・R4 ・VspecRS-sport ・SspecRS-sport ・RSsportS-spec
ファルケン	アゼニス RT615K

シリーズ期間内でも、これに準ずると判断されたタイヤは使用不可になる場合があります。
また、通称Sタイヤおよび縦溝のみのタイヤは使用不可とする。

2 地方ダートトライアル選手権

1) 北海道ダートトライアル選手権：

【クラス区分】

クラス	参加車両
FF-1 クラス	気筒容積1,600cc以下の2輪駆動のP、PN、N、B、SA、SAX、SCおよび排気量区分なしの2輪駆動のAE車両 (※FF-1クラスに参加する車両の年式制限を行う(AE車両は除く)。その年式は、2000年(平成12年)10月以降に初年度登録された車両であること)
FF-2 /4WD-1 クラス	FF-1クラスに該当しない2輪駆動のP、PN、N、B、SA、SAX、SC車両、および気筒容積1,600cc以下の4輪駆動のP、PN、N、B、SA、SAX、SC車両、および排気量区分なしの4輪駆動のAE車両
RWD クラス	排気量区分なしの後輪駆動のP、PN、N、B、SA、SAX、SC車両
4WD-2 クラス	気筒容積1,600ccを超える4輪駆動のP、PN、N、B、SA、SAX、SC車両
D クラス	クラス区分なしのD車両

2) 東北ダートトライアル選手権：

【参加車両】AE、PN、N、SA、SAX、SC、D とする。

【クラス区分】

クラス	参加車両
S0 クラス	AE車両・PN車両・1500cc以下の2輪駆動のN/SA/SAX車両
S1 クラス	2輪駆動のN/SA/SAX/SC車両と1600cc以下の4輪駆動のN車両
S2 クラス	4輪駆動のN/SA/SAX/SC車両
D クラス	排気量区分なしのD車両

3) 関東ダートトライアル選手権：

【競技車両】PN、N、AE、B、SA、SAX、SC、D とする。

【クラス区分】

クラス	参加車両
N1500 & PN1	気筒容積1,500cc以下の2輪駆動のN車両で排ガス規制平成12年規制以降の適合車両、および気筒容積1,600cc以下の2輪駆動のPN車両とし、AE車両を含む。
PN2 & PN3	気筒容積1,600ccを超える2輪駆動のPN車両とする。
N1	2輪駆動のN車両および気筒容積1,600cc以下の4輪駆動のN車両とする。
N2	気筒容積1,600ccを超える4輪駆動のN車両とする。
S1	2輪駆動のSA/SAX/SC/B車両とする。
S2	4輪駆動のSA/SAX/SC/B車両とする。
D	排気量および駆動方式による区分なしのD車両とする。

4) 中部ダートトライアル選手権：

【クラス区分】

クラス	参加車両
RWD	排気量によるクラス区分を行わず、後輪駆動のPN・N・B・SA・SAX・SC・D車両
PN1・S1500	気筒容積1500cc以下の2輪駆動のB車両(車両規定はスーパー1500車両規定で運用する)、気筒容積1600cc以下の2輪駆動のPN車両、全てのAE車両 ※1
PN2	気筒容積1600ccを超える2輪駆動(FF)のPN車両
N	排気量によるクラス区分を行わず、4輪駆動のN車両
S1	排気量によるクラス区分を行わず、2輪駆動のN・SA・SAX・SC車両
S2	排気量によるクラス区分を行わず、4輪駆動のSA・SAX・SC・D車両

※1の記号のあるクラスの内、B車両は以下の制限が加えられる。

- ・参加が許される車両は、気筒容積1500cc以下の自然吸気エンジンの車両および気筒容積1500cc以下の自然吸気エンジンを搭載したハイブリッド車両とする。
- ・駆動方式は、前輪2輪または後輪2輪のいずれかを駆動する2輪駆動車とする。
- ・当該自動車製造者発行の量産車カタログの同一車両型式に記載される車両本体価格を基準とし、250万円以下の車両とする。
- ・最終減速比の変更は、同一車両型式に設定されている純正部品およびメーカーオプションで、改造および加工の必要なく取り付けられるものであれば、ボルトオンを条件に許される。
- ・フライホイールの変更は許されない。
- ・エアコンは装着されていなければならない、その機能を維持していること。
- ・自動車検査証の初度登録年月が平成12年1月以降の車両であること。

5) 近畿ダートトライアル選手権：

【参加車両】 AE車両・PN車両・N車両・SA車両・SAX車両・SC車両・D車両・B車両

【クラス区分】

クラス	参加車両
RWDクラス	排気量区分なしの後輪駆動のPN・N・SA・SAX・B・SC車両
AE・PNクラス	排気量区分なしの全てのAE車両および2輪駆動のPN車両
Nクラス	1600cc以下の4輪駆動のN車両
S1クラス	排気量区分なしの2輪駆動のN・SA・SAX・SC車両
S2クラス	1600cc超の4輪駆動のN車両および排気量区分なしの4輪駆動のSA・SAX・SC車両
Dクラス	排気区分なしの全てのD車両

6) 中国ダートトライアル選手権：

【クラス区分】

クラス名称	クラス区分
AE	気筒容積1500cc以下でモーター出力50kw以下の2ペダル2輪駆動車で、なおかつエンジンを始動せずモーターだけの動力で自力走行できるAE車両。 ただし、デファレンシャルギアの変更は禁止する。
AT	クラッチペダルを有しない2輪駆動のAE・PN・N・SA・SAX車両。 ただし、デファレンシャルギアの変更は禁止する。
PN1+	気筒容積1600cc以下の2輪駆動のPN車両および気筒容積1500cc以下の2輪駆動のB車両（ラリー車両規定のRPN車両に限定する）。
NPSA	2輪駆動のN車両、および気筒容量1500cc未満の2輪駆動で2005年式以降のAE・PN・N・SA・SAX車両（2輪駆動のラリー車両規定のRJ車両を含む）。
SA1	2輪駆動のSAおよびSAX車両。
RWD	排気量区分無し、後輪駆動のPN・N・SA・SAX・SC・D車両。
NS1	4輪駆動のN・SA・SAX車両。
SCD1	2輪駆動のSCおよびD車両。
SCD2	4輪駆動のSCおよびD車両。

7) 四国ダートトライアル選手権：

【クラス区分】

クラス	参加車両
PN	2輪駆動のPN車両
N1	2輪駆動のN車両 気筒容積1600cc以下の4輪駆動のN車両
N2	気筒容積1600ccを超える4輪駆動のN車両
SD1	2輪駆動のSA車両、SAX車両、SC車両およびD車両 気筒容積1600cc以下の4輪駆動のSA車両、SAX車両、SC車両およびD車両
SD2	気筒容積1600ccを超える4輪駆動のSA車両、SAX車両、SC車両およびD車両

8) 九州ダートトライアル選手権：

【クラス区分】

クラス	参加車両
PN1+クラス	1586cc以下の2輪駆動のAE・PN・N・SA・SAX車両
N1クラス	2輪駆動のN車両および1600cc以下の4輪駆動のN車両
N2クラス	1600ccを超える4輪駆動のN車両
RWDクラス	後輪駆動のPN・N・SA・SAX・B・SC車両
S1クラス	1586ccを超える2輪駆動のSA・SAX車両および排気量区分無しの2輪駆動のB・SC車両
S2クラス	4輪駆動のSA・SAX車両
Cクラス	排気量および駆動方式区分無しのSAX・B・SC車両
Dクラス	排気量および駆動方式区分無しのD車両

3. 地方サーキットトライアル選手権

1) 菅生サーキットトライアル選手権

【クラス区分】

クラス	排気量と駆動方式
CT1	排気量制限無し・駆動制限無しのB車両
CT2	排気量制限無しの2輪駆動のB車両
CT3	自然吸気、排気量制限無しの2輪駆動の国産車メーカーのB車両
CT4	気筒容積2400cc以下の2輪駆動の国産車メーカーのB車両
CT5	気筒容積1600cc以下の2輪駆動の国産車メーカーのB車両
CT6	気筒容積1500cc以下の国産車メーカーのB車両
CT7	気筒容積1500cc以下の2輪駆動のPN車両のうち、FIA/JAF公認発効年またはJAF登録年が2012年1月1日以降の限定販売がされていないカタログモデルの車両
CT8	オートマチック限定免許で運転できる、国産車メーカーのSUVタイプのP・AE車両
CT9	オートマチック限定免許で運転できる、国産車メーカーの軽自動車タイプのP・AE車両

※過給装置付エンジンはもとの排気量の1.7倍のクラスとみなし、ロータリーエンジンはもとの排気量の1.5倍のクラスとみなす。また性能調整として、NSXはCT2クラス、シビックタイプR(EK9/EP3/FD2/FN2)、インテグラタイプR、S2000、RX-8はCT3クラスにのみ参加を認める。

【使用可能タイヤ】

純正装着以外で使用できるタイヤは、4本とも同銘柄（パターン）で、以下の最低条件を満たした、一般に国内で市販されているタイヤでなければならない。ただし、縦溝のみのタイヤや通称Sタイヤ（サーキット走行を主目的とするタイヤ）とオーガナイザーが判断した銘柄は直ちに使用禁止とする。

- ①単一コンパウンドかつ国内販売が20サイズ以上のラインナップを有すること。
- ②上記①を満たしたタイヤで、かつタイヤ接地面にタイヤを一周する連続した複数の縦溝を有していること。
- ③縦溝はトレッドウェアインジケータ（スリップサイン）が出るまで維持されていること。

※主に使用可能なタイヤ銘柄

メーカー	ブランド	主な使用可能なタイヤ名称
ブリヂストン	POTENZA	RE-71RS/RE-71R/RE-11/RE-01R/RE-01/S007A/Adrenalin RE003~004
横浜ゴム	ADVAN	NEOVAAD08R/Sport V105/FLEVA V701
住友ゴム工業	DIREZZA	ZIII/DZ102
	AZENIS	RT615K+
日本グッドイヤー	EAGLE	F1 ASYMMETRIC 5/RS SPORT S-SPEC/REVSPEC RS-02
トーヨータイヤ	PROXES	R1R/Sports
ミシュラン	PILOT	SPORT 4S/SUPER SPORT/SPORT 3~4/SPORT PS2
ピレリ	P ZERO	CORSA
クムホ	ECSTA	V720/V700/PS91/PS71/LE Sport
ナンカン	Sportsnex	NS-2R/NS-2
ハンコック	Ventus	RS4 Z232/V12 evo2 K120
フェデラル	595	EVOLUZIONE ST-1
EPTYRES	Accelera	651SPORT (TREADWEAR200)
柴田自動車	SHIBATIRE	SHIBATIRE (TW180~)

【車両最低重量】

参加車両の最低重量は下記の通りとする。

- ①CT1~6クラスは、当該自動車製造者発行のカタログに記載された主要諸元一覧表の同一車両型式に認定されている車両重量-50kgとする。ただし、同一車両型式に過給器付（ターボチャージャー、スーパーチャージャー等）と過給器無の両仕様が存在する場合は、各々に設定されている車両重量-50

kgとする。

②CT7～9 クラスは、参加車両の最低重量は当該自動車製造者発行のカタログに記載された主要諸元一覧表の同一車両型式に認定されている車両重量の内、最小値とする。ただし、同一車両型式に過給器付（ターボチャージャー、スーパーチャージャー等）と過給器無の両仕様が存在する場合は、各々に設定されている車両重量の最小値とする。

2) 筑波サーキットトライアル選手権

【クラス区分】

クラス	排気量と駆動方式
CT1	排気量制限無し・駆動制限無しのB車両
CT2	排気量制限無しの2輪駆動B車両
CT3	自然吸気、排気量制限無しの2輪駆動の国産車メーカーのB車両
CT4	気筒容積2400cc以下の2輪駆動の国産車メーカーのB車両
CT5	気筒容積1600cc以下の2輪駆動の国産車メーカーのB車両
CT6	気筒容積1500cc以下の国産車メーカーのB車両
CT7	気筒容積1500cc以下の2輪駆動のPN車両のうち、FIA/JAF公認発効年またはJAF登録年が2012年1月1日以降の限定販売されていないカタログモデルの車両
CT8	オートマチック限定免許で運転できる、国産車メーカーのSUVタイプのP・AE車両
CT9	オートマチック限定免許で運転できる、国産車メーカーの軽自動車タイプのP・AE車両

※過給装置付エンジンはもとの排気量の1.7倍のクラスとみなし、ロータリーエンジンはもとの排気量の1.5倍のクラスとみなす。また性能調整として、NSXはCT2クラス、シビックタイプR(EK9/EP3/FD2/FN2)、インテグラタイプR、S2000、RX-8はCT3クラスにのみ参加を認める。

【使用可能タイヤ】

純正装着以外で使用できるタイヤは、4本とも同銘柄（パターン）で、以下の最低条件を満たした、一般に国内で市販されているタイヤでなければならない。ただし、縦溝のみのタイヤや通称Sタイヤ（サーキット走行を主目的とするタイヤ）とオーガナイザーが判断した銘柄は直ちに使用禁止とする。

- ①単一コンパウンドかつ国内販売が20サイズ以上のラインナップを有すること。
- ②上記①を満たしたタイヤで、かつタイヤ接地面にタイヤを一周する連続した複数の縦溝を有していること。
- ③縦溝はトレッドウェアインジケータ（スリップサイン）が出るまで維持されていること。

※主に使用可能なタイヤ銘柄

メーカー	ブランド	主な使用可能なタイヤ名称
ブリヂストン	POTENZA	RE-71RS/RE-71R/RE-11/RE-01R/RE-01/S007A/Adrenalin RE003~004
横浜ゴム	ADVAN	NEOVAAD08R/Sport V105/FLEVA V701
住友ゴム工業	DIREZZA	ZIII/DZ102
	AZENIS	RT615K+
日本グッドイヤー	EAGLE	F1 ASYMMETRIC 5/RS SPORT S-SPEC/REVSPEC RS-02
トーヨータイヤ	PROXES	R1R/Sports
ミシュラン	PILOT	SPORT 4S/SUPER SPORT/SPORT 3~4/SPORT PS2
ピレリ	P ZERO	CORSA
クムホ	ECSTA	V720/V700/PS91/PS71/LE Sport
ナンカン	Sportsnex	NS-2R/NS-2
ハンコック	Ventus	RS4 Z232/V12 evo2 K120
フェデラル	595	EVOLUZIONE ST-1
EPTYRES	Accelera	651SPORT (TREADWEAR200~)
柴田自動車	SHIBATIRE	SHIBATIRE (TW180~)

【車両最低重量】

参加車両の最低重量は下記の通りとする。

- ①CT1~6クラスは、当該自動車製造者発行のカタログに記載された主要諸元一覧表の同一車両型式に認定されている車両重量-50kgとする。ただし、同一車両型式に過給器付（ターボチャージャー、スーパーチャージャー等）と過給器無の両仕様が存在する場合は、各々に設定されている車両重量-50

kgとする。

②CT7～9 クラスは、参加車両の最低重量は当該自動車製造者発行のカタログに記載された主要諸元一覧表の同一車両型式に認定されている車両重量の内、最小値とする。ただし、同一車両型式に過給器付（ターボチャージャー、スーパーチャージャー等）と過給器無の両仕様が存在する場合は、各々に設定されている車両重量の最小値とする。

以上

3) 岡山国際サーキットトライアル選手権

【クラス区分】

クラス	排気量と駆動方式
CT1	排気量制限無し・駆動制限無しのB車両
CT2	排気量制限無しの2輪駆動B車両
CT3	自然吸気、排気量制限無しの2輪駆動の国産車メーカーのB車両
CT4	気筒容積2400cc以下の2輪駆動の国産車メーカーのB車両
CT5	気筒容積1600cc以下の2輪駆動の国産車メーカーのB車両
CT6	気筒容積1500cc以下の国産車メーカーのB車両
CT7	気筒容積1500cc以下の2輪駆動のPN車両のうち、FIA/JAF公認発効年またはJAF登録年が2012年1月1日以降の限定販売されていないカタログモデルの車両
CT8	オートマチック限定免許で運転できる、国産車メーカーのSUVタイプのP・AE車両
CT9	オートマチック限定免許で運転できる、国産車メーカーの軽自動車タイプのP・AE車両

※過給装置付エンジンはもとの排気量の1.7倍のクラスとみなし、ロータリーエンジンはもとの排気量の1.5倍のクラスとみなす。また性能調整として、NSXはCT2クラス、シビックタイプR(EK9/EP3/FD2/FN2)、インテグラタイプR、S2000、RX-8はCT3クラスにのみ参加を認める。

【使用可能タイヤ】

純正装着以外で使用できるタイヤは、4本とも同銘柄（パターン）で、以下の最低条件を満たした、一般に国内で市販されているタイヤでなければならない。ただし、縦溝のみのタイヤや通称Sタイヤ（サーキット走行を主目的とするタイヤ）とオーガナイザーが判断した銘柄は直ちに使用禁止とする。

- ①単一コンパウンドかつ国内販売が20サイズ以上のラインナップを有すること。
- ②上記①を満たしたタイヤで、かつタイヤ接地面にタイヤを一周する連続した複数の縦溝を有していること。
- ③縦溝はトレッドウェアインジケータ（スリップサイン）が出るまで維持されていること。

※主に使用可能なタイヤ銘柄

メーカー	ブランド	主な使用可能なタイヤ名称
ブリヂストン	POTENZA	RE-71RS/RE-71R/RE-11/RE-01R/RE-01/S007A/Adrenalin RE003~004
横浜ゴム	ADVAN	NEOVAAD08R/Sport V105/FLEVA V701
住友ゴム工業	DIREZZA	ZIII/DZ102
	AZENIS	RT615K+
日本グッドイヤー	EAGLE	F1 ASYMMETRIC 5/RS SPORT S-SPEC/REVSPEC RS-02
トーヨータイヤ	PROXES	R1R/Sports
ミシュラン	PILOT	SPORT 4S/SUPER SPORT/SPORT 3~4/SPORT PS2
ピレリ	P ZERO	CORSA
クムホ	ECSTA	V720/V700/PS91/PS71/LE Sport
ナンカン	Sportsnex	NS-2R/NS-2
ハンコック	Ventus	RS4 Z232/V12 evo2 K120
フェデラル	595	EVOLUZIONE ST-1
EPTYRES	Accelera	651SPORT (TREADWEAR200~)
柴田自動車	SHIBATIRE	SHIBATIRE (TW180~)

【車両最低重量】

参加車両の最低重量は下記の通りとする。

- ①CT1~6クラスは、当該自動車製造者発行のカタログに記載された主要諸元一覧表の同一車両型式に認定されている車両重量-50kgとする。ただし、同一車両型式に過給器付（ターボチャージャー、スーパーチャージャー等）と過給器無の両仕様が存在する場合は、各々に設定されている車両重量-50

kgとする。

②CT7～9 クラスは、参加車両の最低重量は当該自動車製造者発行のカタログに記載された主要諸元一覧表の同一車両型式に認定されている車両重量の内、最小値とする。ただし、同一車両型式に過給器付（ターボチャージャー、スーパーチャージャー等）と過給器無の両仕様が存在する場合は、各々に設定されている車両重量の最小値とする。

以上